

～輝きの子育て～

新年度が始まりました。
どうぞ宜しく！

いよいよ胸はずむ新年度が始まりました。今年は16名の新入園児をお迎えし4月4日（土）は入園式です。3月には成長した13名の卒園生を送り出しました。卒園式の後には保護者の代表が中心に心のもった温かい謝恩会をして頂き、とても嬉しく思いました。本当に良い仕事をさせて頂いているという感謝の気持ちで一杯です。又、小学校6年を卒業した多くの卒園生が挨拶に来てくれました。保育園時代の面影を残しながらも立派に成長した子供達に会え、思うことは、これから進む中学、高校・・・更なる彼等の進む道が充実した、日々幸せに満ちたものであることを願うばかりです。

保育園では各クラス共、今まで使ったロッカー、引き出し、保育室をお友達皆が「ありがとう」の感謝の気持ちを含め、きれいに掃除をしてくれました。どのクラスも気持ち良く進級でき、新しいお友達をお迎え出来ると思います。私達職員一同、熱い思いで良い保育を目指し努力してまいります。保護者の皆さまのご協力も宜しくお願い致します。

片野 英子

園で大切にしたい『五つの心』です。

「はい」という素直なところ
「ありがとう」という感謝のこころ
「ごめんなさい」という反省のこころ
「どうぞ」という譲歩のこころ
「わたしがやります」という奉仕のこころ

こんな幼児に育てたい

どろんこ遊び 砂遊び 遊びは 何でも 大好きで
友だちが たくさんいて 虫や動物や 花が好き
時々けんかや ちょっぴり悪戯をして いじめたり いじめられたりする
おかしい時には 大笑い 悲しい紙しばいや 童話の時は 涙ぐみ
叱られるとしゅんとなり ほめられると有頂天になって喜び
返事 挨拶 しつけの けじめだけは しっかりして
眼は きらきら輝いている
こんな子どもらしい 子どもに 育てたいものである

高橋 系吾 言より

子どもの情緒の安定が何より大切

子どもの情緒の安定は、日常生活において重要な意味をもっており、情緒が不安定な子どもは「自発性」の発達が阻害されるばかりでなく、様々な扱いにくい行動や身体症状を現すことが多くなります。

子どもの情緒の安定は、親と子どもとの一対一の関係の中で親から「思いやり」を受けることによって実現されます。「思いやり」とは、子どもの立場に立って考え、子どもの気持ちをくんであげることです。家族関係がかもし出す雰囲気子ども的人格形成に大きな影響を及ぼします。自己自省の能力が発達していくには子どもを十分かわいがることであり、それによって「思いやり」の心がだんだん芽生え自分本位の気持ちが少しずつ減り、わがママが少なくなっていくと思われれます。又、人に対する子どもの愛情の発達にも親から「思いやり」を受けることにより、子どもの愛情も豊かになります。親から大切に思われていることによって他人への信頼感が強くなります。

平井 信義 著より